

令和7年度 吹田市立生きがい活動センター
指定管理者候補者選定委員会議事概要

1 開催日時・場所

日時 令和7年10月24日（金） 午後2時30分から午後4時

場所 吹田市津雲台1-2-1 千里ニュータウンプラザ5F 吹田市立高齢者生きがい活動センター

2 出席委員

委員長	井元 真澄	梅花女子大学 教授
副委員長	桑田 智代	社会福祉法人吹田市社会福祉協議会 副会長
委員	山本 美紀	大阪府社会保険労務士会 労務監査推進特別部会員
委員	渡邊 眞	吹田市民生・児童委員協議会 副会長
委員	神谷 拓摩	近畿税理士会吹田支部

※欠席委員なし

3 会議次第

- (1) あいさつ
- (2) 委員長及び副委員長の選任
- (3) 諮問
- (4) 第三者モニタリング・評価について
- (5) ヒアリング
- (6) 答申（案）の審議、確定

4 議事概要

- (1) あいさつ
- (2) 委員長及び副委員長の選任
- (3) 諮問
- (4) 第三者モニタリング・評価について

【管理運営体制に関する講評】

評価基準：当施設の人員体制に関して、職員の雇用契約、労働時間等が労働関係法令を遵守したものであるか。

委員

・ハラスメント防止規程において、令和8年から施行となるカスタマーハラスメントや就

活学生に対するハラスメントについて、既に盛り込まれているような文言が見受けられ、早いうちから体制づくりに勤められており、非常に評価できる。

- ・人員配置について、急な休みが生じた際も交代できるような工夫が講じられており、働き方に余裕を持たせたものとなっている。

- ・就業規則において、年次有給休暇を取得した際の賃金について、平均賃金を支払うという文言と通常の賃金を支払うという異なる記述があり、修正を図られたい。

- ・賃金規定において、時間外手当を算出する際に、基本給を割増賃金の計算に算入するような文言の記載がある一方で、調整手当等の基本給を割増賃金の計算に算入しなければならない手当について、当該文言の記載がなかった。専属の社会保険労務士の方と打ち合わせをして、実態に合わせた修正を図られたい。

【サービス提供の継続性及び安定性に関する講評】

評価基準：当施設の管理運営に係る経営状況に関して、施設の管理運営に係る経営状況が健全であり、継続的かつ安定的なサービス提供が可能であるか。

指定管理者の財務状況に関して、団体本体の財務状況も健全であり、引き続き、安定的かつ継続的な管理運営を行うことが可能であるか。

委員

経常収支は黒字となっており、評価できる。

自己資本比率（10%を切ると危険、33%超で優良とされる）：81.2%、支払い能力も高く、すぐに倒産するようなことはないことが伺え、申し分ない財務状況であると評価できる。

(5) ヒアリング

委員

提出された4月度の勤務表において、有給休暇に関する記載がないものがあるが、今回提出分では取得がなかったという理解でよい。

指定管理者

そのとおり。子どもの夏休みの関係で、8月に有給休暇を取得される職員が多く、年度内にすべて消化する方がほとんどである。

委員

フルタイムであれば、年間5日以上は有給休暇を取得しなければならないが、職員の有給取得状況はどのように管理しているか。

指定管理者

有給取得の際の申請書において、付与日数及び取得状況を管理している。

委員

子どもの夏休みという話があったが、子育てあるいは介護等、どのようなライフステージにある職員がいるか。

指定管理者

職員の年齢としては、40代前半から67歳まで、ライフステージとしては、小学3年生の子どもがいる方から孫がいる方、介護が始まった職員が在職している。それぞれの希望を聞きながらローテーションを組んでいるので、無理せず働けているという認識である。

委員

パートの職員は有期雇用か。

指定管理者

雇用開始から10年が経過した職員については無期雇用契約をしており、そうでない職員は1年ごとの有期雇用契約としている。

委員

雇用開始から10年が経過すれば必然的に無期雇用に転換することに加えて、就業規則にもあるとおり、6年が経過すれば、本人申し出により無期雇用に転換できるといった労働契約法の規定があるが、6年以上勤められた方が無期雇用への転換を申し出ているような実情はあるか。

指定管理者

今後、対象となる職員が出てき始めるような状況である。対象者には意向確認をしようと考えている。

委員

提出された労働条件通知書は4月度のもので、10月に改定された最低賃金については、どのように対応しているか。

指定管理者

専属の社労士からの連絡を受けて、改定後の最低賃金により計算して支給している。

委員

利用者サービスの中でInstagramやLINEを活用されており、感心するところであるが、職員の募集はどのような手法で実施しているか。

指定管理者

Indeed という求人サイトに掲載している。募集すると 10 名程度の応募がある。

委員

1 回あたりの費用はいくらか。

指定管理者

無料プランを使っている。高齢者生きがい活動センター周辺の方を中心に応募がある。駅から近いという利便性もあり、退勤後に近隣での子どもの習い事のお迎えに行く等、負担なく働いていただけていると思う。

委員

アンケートについて、抜粋されたものを見る限り丁寧な回答をされている印象を受けた。アンケートの中で、入館届を記入することに対する煩わしさに関する声が多いように見受けられ、バーコード機器やメンテナンスのコストが追いつかないという回答をされている。市への報告がどういった単位で行われているのかまでは把握していないが、入館者数の把握のみであれば、アプリケーションの導入ほどのコストをかけずに、例えばエクセル管理が可能なものもあると思うので、利用者の利便性向上のためにも、可能な範囲で進めていただきたいと思う。

ICT 化を進めている施設も増えている中で、何か考えている取組はあるか。

指定管理者

利用者からの要望に応えていけないとは思っている。入館の手続きについても、過去に調べたが、やはり機器の導入に係るコストがネックであった。御提案いただいたエクセルによる管理は職員が対応可能かどうかというところもあって即答できかねるが、その他の ICT 機器についても、コスト面がクリアできれば導入したいとは考えている。

委員

同じような意見になるが、入館の手続きについては、利用者だけでなく職員の負担軽減・業務効率化という意味でも対応が求められていると思う。昨今では DX 化や生成 AI の活用が広まっている中で、本施設では SNS の活用やスマホ講座の開催等の工夫が講じられているので、費用が許せば、施設全体の DX 化や業務効率化を推奨していただき、少しでも職員の負担軽減を図っていただきたい。活用できるツールも増えていると思うので、他の施設の導入例も参考に、是非とも取り入れていただきたい。

委員

事業報告書の実施した修繕の箇所において、0 円のものが記載されているが、どういったものか。

指定管理者

多目的室内のパーティションの修繕であるが、千里ニュータウンプラザの指定管理者による修繕だったため、高齢者生きがい活動センターの指定管理者による費用負担はなかったというもの。

委員

事業報告書の事業計画（目標）との達成状況において、利用者が多く盛況であることが伺えるが、主催事業は目標を下回っている一方で、自主事業は目標を上回っていることについて、どのように考えているか。

指定管理者

主催事業は開催の都度、市報の限られたスペースで広報を実施しているものであることに対し、自主事業は1度申し込めば年間を通して参加することができる通年講座の形式を採用していることが影響している。また、主催事業のうち、百歳体操については、継続して参加することが難しい受講者もおられた結果、目標の達成には至らなかったものと考えている。

自主事業の中には、主催事業で好評だった内容の開催回数を増やす形で取り入れているものもあるので、参加人数が逆転してしまう傾向にある。

委員

事業報告書的主催事業と自主事業の実施状況について、条例の設置目的や指定管理者の指定にあたっての管理運営基準に定めのある世代間交流について、どのような取組がなされているのかが読み取れなかったので、教えていただきたい。

指定管理者

施設の開館と子どもの学校の休みが重なることが少なく、また、習い事等で都合がつかない実態がある。夏休みであれば、このような課題が解消されるため、宿題を一緒に取り組んだり、小さなキャンパスに絵の具を使って自由に描く「キャンパスアート」を実施し、保護者同伴で小学生に参加していただいている。

世代間交流というと、小さな子どもと高齢者がイメージされがちであるが、60歳未満の市民の方がお母様を連れて来られ交流するようなケースもあり、クラフト講座のような手軽に参加できる講座も展開している。

委員

事業報告書の令和6年度における特徴的な事項の中で、利益還元事業を初めて実施した旨の報告があった。報告の中では実施回数を読み取れなかった。恐らく収支状況に記載のその他の収支に充てられているものと思われるが、本事業についての詳細を教えてください。

指定管理者

他の施設で実施されていたのを参考に「大人の絵本と日本茶」という事業を実施した。定員26名に対して27名の応募があり、当日は20名に参加いただいた。

参加者の中には認知症の症状が見られる方もいたが、日本茶を淹れる際には体の構えが正された様子が伺えたことが印象的であった。

令和6年度の開催回数は1回のみであるが、令和7年度には同じく利益還元事業として、無声映画の放映を計画している。

委員

事業報告書に記載されている研修について、外部で実施されているものに参加したのか、施設内で相互に行ったもしくは講師を呼んで実施したのか、具体的な内容を教えてください。

指定管理者

基本的には動画視聴や資料配布の形式の研修が多い。

新人を対象としたサービス介助基礎研修については、日本ケアフィット共育機構での実地研修の形式である。車いすの押し方やユニバーサル考え方について学習する研修で、受講期間は1日である。

委員

吹田市全域ではいきいき百歳体操の開催場所は微増していると伺っている。本施設では参加者が減ってしまっているという回答であったが、参加者が増えるような方策を検討いただければと思う。

アンケートにも継続を望む声もあるので、何か考えがあれば教えてください。

指定管理者

百歳体操をきっかけに仲間ができるようなケースも多くあり、今後も継続したいと考えるが、市の管轄は高齢福祉室であるため、どこまで広報を実施してよいか等について相談の上で取り組んでいきたい。

委員

音楽を使った講座を楽しみにされている参加者が多いと思うが、著作権の関係で楽曲の取扱いが厳しくなる中で、何か対策は講じているか。

指定管理者

各教室の担当講師に対しては、著作権が切れた楽曲を取り扱うよう伝えている。無料講座と有料講座における楽曲の取扱いの棲み分けについては、今後も講師に相談しながら進めていく。

委員

市内の公民館が所管している教育委員会では、無料講座であっても講師に謝礼を払っていると、営利目的とみなされる可能性があると同っているので、できるだけ早く対策を講じていただくことが望ましい。

(6) 答申（案）の審議、確定

施設の評価に関するコメント

- ・利用者アンケートから、利用者の居場所や交流の場になっているなど、地域にとっても欠かせない場所であり、非常に高い満足度が伺えた。
- ・スタッフや利用者の負担軽減という観点で、今後はできることから DX を取り入れていただきたい。
- ・新しい事業を取り入れるなど、マンネリ化を防ぐ工夫がされており、利用者にとっても通いやすいアットホームな施設である印象を受けた。
- ・財政状況から見ても、意義のある事業を健全に運営されていることが伺え、評価に値する。

委員長

主催事業よりも自主事業の回数が上回っていることについて、市としてどのように考えているか。

事務局

時代によって、利用者のニーズが変わってしまうものと認識している。

次期指定管理者の選考の際には、人気がある事業を主催事業に取り入れるような見直しが可能であるため、現指定管理者と協議の上で精査を進めていく。

委員長

いただいた評価をもとに、当委員会としてのモニタリング評価を確定する。皆さんの評価をお伺いすると、「当施設の指定管理者による管理運営は、概ね適正に実施されていること

が確認できた」で問題ないと思うが、どうか。

各委員

異議なし

委員長

それでは、本選定委員会の評価の結果、全施設ともに「当施設の指定管理者による管理運営は、概ね適正に実施されていることが確認できた。」を答申とする。

また、第三者モニタリング・評価シートのコメント欄に記入していただいた内容については、事務局でとりまとめ、「第三者モニタリング・評価により把握された内容及び対応策」へ清書し、公表となるが、内容については事務局と委員長で調整させていただくこととし、委員長一任とさせていただいてよろしいか。

各委員

異議なし

委員長

以上をもって、本日の議事はすべて終了とし、吹田市立生きがい活動センター指定管理者候補者選定委員会を閉会する。